

連続講座内川学 8 × 地域デザインプロジェクト 「内川からまちを構想する」

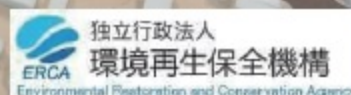
2017年3月5日（日）開会 13:30～16:00

東北公益文科大学大学院ホール（鶴岡タウンキャンパス）

参加費無料、どなたでも参加できます（要事前申し込み）。



主催：東北公益文科大学庄内・地域デザイン研究所、NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡



連続講座内川学 8 × 地域デザインプロジェクト

「内川からまちを構想する」

開催趣旨

長く内川は人々の暮らしとともに在りました。しかし高度成長期の水質汚染などとともに川は暮らしからも人々の意識からも遠ざかっていきます。この内川を地域の貴重な歴史・文化・環境的資源として位置づけ、まちづくりにうまく生かしていくことをめざして、2007年夏に社会実験として内川プロジェクトが始まりました。2009年度からは内川学と名称を変え市民のみなさんとともに内川の持つ可能性を研究してきました。2016年度は内川プロジェクト開始から10年にあたるとともに、地域資源を生かしたまちづくりを推進する庄内・地域デザイン研究所発足の年ともなりました。この節目となる年を迎えるにあたり、「内川からまちを構想する」と題するシンポジウムを開催します。

第一部では内川学の研究発表を行います。生態学、水質問題、また和舟の活用など主に環境的側面から内川について報告します。

第二部ではこれまでの内川学の歩みを総括するとともに、内川に視点を置き、内川を中心にまちづくりを考えてみます。旧武家地と町人地の間を流れる内川の両岸がどのようなまちに変貌しようとしているのか、また内川を中心にするこのまちはどのような可能性を持って見えてくるのか・・・まちのモデルも持ち込んで、鶴岡のまちづくりに主体的に関わっておられる皆さんと議論を深めたいと思います。

プログラム

12:50	受付開始	
13:30	開会挨拶 渡部正芳 (鶴岡舟番所会長)	
13:40	第一部：研究発表	
	「内川の植物」	水野重紀 (鶴岡自然調査会)
	「よみがえった和舟」	渡部正芳 (鶴岡舟番所会長)
	「内川の水質について」	小谷卓 (鶴岡工業高等専門学校)
14:40	第二部：内川からまちを構想する	
	鶴岡商工会議所副会頭	國井英夫
	山形県建設業協会鶴岡支部長	佐藤友和
	エピスプロジェクト代表	北風秀明
	鶴岡市建設部長	渡会悟
	庄内・地域デザイン研究所	高谷時彦
16:00	閉会挨拶 三浦新 (山王商店街振興組合理事長)	

お問い合わせ／お申し込み先

東北公益文科大学庄内・地域デザイン研究所 (東北公益文科大学鶴岡キャンパス内)
〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町 14-1 tel. 0235-29-0555 fax.0235-29-0556
mail:gs@koeki-u.ac.jp

★参加は無料ですが事前申し込みが必要です。下記項目を電話・ファックスまたはメールにてお申込みください。

★申し込み受付締め切り 2017年3月3日(金)

お名前

ご住所

お電話番号